<table>
<tr><td rowspan="2">授業科目名：ダンス</td><td rowspan="2">教員の免許状取得の
ための必修科目</td><td rowspan="2">単位数：
１単位</td><td>担当教員名：林田　はるみ・飯田　路佳・田巻　以津香・朴　京眞</td></tr>
<tr><td>担当形態：オムニバス</td></tr>
<tr><td>実務内容
（実務家教員の場合）</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td colspan="2">科　目</td><td colspan="2">教科及び教科の指導法に関する科目
（中学校及び高等学校保健体育）</td></tr>
<tr><td colspan="2">施行規則に定める
科目区分又は事項等</td><td colspan="2">教科に関する専門的事項
体育実技</td></tr>
<tr><td colspan="4">「学位授与の方針」との関係
AからFの項目すべてに該当する。</td></tr>
<tr><td colspan="4">授業の到達目標及びテーマ
(１)ダンスの特性を理解し、学校教育及び保健体育科においてダンス領域を学ばせる意義について説明できる。
(２)「創作ダンス」、「現代的なリズムのダンス」、「フォークダンス」の３つのダンスの基礎的な知識と技能をICTなどを用いて習得し、主体的で対話的な深い学びを通して習得する。
(３)ダンスの楽しさを伝える力を身に付け、指導者としての自信を持つ。</td></tr>
<tr><td colspan="4">授業の概要
ダンス領域の内容（創作ダンス、現代的なリズムのダンス、フォークダンス）について講義と実技を通して学修し、人はなぜ踊るのか、なぜダンス領域を学校体育において学ばせるのかについて考究していく。実技では、3つのダンスの基礎的知識と技能を身につけるとともに、授業の後半では、ダンス作品を創作し上演する。</td></tr>
<tr><td colspan="4">授業計画
第１回：「ダンス」領域の特性の理解
第２回：様々な体ほぐし、リズム系ダンスの特性と指導　①ロックのリズムに乗って自由に踊る
第３回：リズム系ダンスの特性と指導　②ヒップホップのリズムに乗って自由に踊る
第４回：リズム系ダンスの特性と指導　③リズムを選んで変化のある動きの連続を踊る
（ICTの活用、グループディスカッションの実施）
第５回：外国のフォークダンスの特性と指導
（マイムマイム、オクラホマミクサー、グスタフススコール）
第６回：外国のフォークダンスの特性と指導（コロブチカ、オスローワルツ）
第７回：創作ダンスの特性と指導（即興表現）①身近な日常動作を手がかりに
第８回：創作ダンスの特性と指導（即興表現）②群の動きを手がかりに
第９回：創作ダンスの特性と指導（即興表現）③ものを手がかりに
第１０回：創作ダンスの特性と指導（即興表現）④他者との関わりを手がかりに
第１１回：創作ダンスの特性と指導（即興表現）⑤音楽・空間演出を手がかりに
第１２回：創作ダンスの特性と指導（即興表現）⑥即興ベース作品
第１３回：自由課題による作品創作　（ICTの活用、グループディスカッションの実施）</td></tr>
</table>

第１４回：作品発表会 第１５回：作品発表会の評価、反省（ICT の活用、グループディスカッションの実施） 定期試験：実技テスト
スクーリングでの学修内容 　第１回～第 15 回までの全ての内容を、グループワークによる発表などのアクティブラーニングの手法を用いて実施する
教科書 ・文部科学省『中学校学習指導要領解説　保健体育編　平成２９年』東山書房　２０１７年 ・文部科学省『高等学校学習指導要領解説　保健体育編・体育編　平成３０年』東山書房　２０１８年 ※以下の URL 参照（ダウンロード可能）： https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/__icsFiles/afieldfile/2019/03/18/1387018_008.pdf https://www.mext.go.jp/content/1407073_07_1_2.pdf
参考文献 ・村田 芳子『表現運動・表現の最新指導法』小学館　２０１１年 ・村田 芳子『表現運動－リズムダンスの最新指導法』小学館　２０１２年 ・文部科学省『学校体育実技指導資料　第９集　表現運動系及びダンス指導の手引』東洋館出版社２０１３年
学生に対する評価 　スクーリング評価（２０％）、実技テスト（８０％）の割合で総合して評価する。